

### Ⅲ その他記述・自由記述

F 5-2 F 5-1で、1の「いる」にお答えいただいた方にお伺いします。一番下のお子さんは、現在次のどれに該当しますか。【6 その他】

- |              |           |                  |
|--------------|-----------|------------------|
| ■ 28歳        | ■ 看護師     | ■ 職についている        |
| ■ 30歳        | ■ 既婚者     | ■ 成人             |
| ■ 32歳        | ■ 教員      | ■ 成人1人           |
| ■ 40才        | ■ 勤めている   | ■ 成人者            |
| ■ 40歳以上      | ■ 結婚      | ■ 専業主婦, 自由業      |
| ■ 41歳        | ■ 結婚, 市外  | ■ 専門職            |
| ■ 50代女性2人共主婦 | ■ 結婚2人    | ■ 孫, 会社員         |
| ■ 60歳        | ■ 公務員     | ■ 他家養子           |
| ■ アルバイト      | ■ 雑貨屋店員   | ■ 地方公務員          |
| ■ サービス業      | ■ 仕事をしている | ■ 働いている          |
| ■ サラリーマン     | ■ 自営業     | ■ 独立             |
| ■ パートタイム     | ■ 自立      | ■ 妊娠中            |
| ■ フリーター      | ■ 社会人     | ■ 配管工            |
| ■ 衣服販売業      | ■ 社会人, 勤め | ■ 被雇用者           |
| ■ 一人子        | ■ 社会人, 就職 | ■ 被雇用者(事務職)      |
| ■ 一般職        | ■ 社会人2名   | ■ 保育師            |
| ■ 嫁いでいる      | ■ 主婦      | ■ 無職             |
| ■ 家事手伝い      | ■ 主婦/バイト  | ■ 娘2人, 結婚して外に{1. |
| ■ 介護職        | ■ 就業中     | 東京に 2. **に       |
| ■ 会社員        | ■ 就職      |                  |

F 7 あなたが現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに該当しますか。【5 その他の世帯】

- 親子, 孫, ひ孫
- パートナー
- 子どもとは別
- 夫婦と孫1人
- 姉, 妹
- 姉弟
- 叔母, 子
- 内院
- 特養に入所
- 親と子と孫とひ孫
- 施設
- 孫との\*\*
- 祖母
- 祖母と夫婦
- 子と孫からなる世帯
- 老人ホーム在中

**問3 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことは何でしょうか。(〇は2つまで) 【6 その他】**

- 世代間の認識の格差をしっかりとデータ化して問題点を洗い出す。
- 男だ女だと言う前に、人を何かで括るのをやめてひとりひとりと向き合う事が”先”では？
- 基本は平等になっている。男の得意な所、女の得意なことをもっとおしすすめる。
- 子育てこそ社会参加です
- 男性が家事を行うことがおかしいという偏見をなくす
- 男性は仕事を優先すべきという慣習を見直し、男性でも育児参加や子育てに積極的になれる空気をもっと広めるべき。
- 出産後、必ず元の職場に戻す法律
- 偏見を持つ人に対しての意識改革が必要
- 男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 結局、子どもができると女性が会社を辞めなければならないのが主。
- 義務教育(小学校、中学校)高校の期間に男女平等について子ども達に考えてもらう時間があると良いかもしれないと思う
- 良い面、悪い面での決断は男性にはかなう事なし。男は仕事、女性は家庭それでよし。
- 女性自身の意識改革
- 男女の持っているものは違うので平等にはなれないと思います。
- 女性自身が男性と同等社会人として自覚持ち、職場で実行すること。(安易に休まないこと)
- 学力、技術、実力で平等になる機会を作ること
- 女性自身が変わり地域活動やいろいろな場に参加する。
- 小学校、中学校で男女平等を考える機会を持つ(現時点でそういう機会があるのかもしれないが、不明なので)
- 嫁の介護に対する固定観念。法律が理にかなってない。
- 男女平等にしなくていいと思います。女性の方が実際弱いから。
- 女性だから、男性だから〇〇するという風潮を無くす。
- 女性を優遇する法律や制度を新たに作る必要はないが、住民組織の代表者(区長等)や、職場の女性割合 目標値を設定する等により、女性が当然に社会参加する事があたりまえになること。
- 男性が積極的に育児休暇等を取れる環境作り。
- 女性が働きやすい環境を整えること
- 自分が男性の影となり、何ごと男性に任せてしまう傾向がある。法的には男女平等なので、女性自身が積極的になれば、女性差別はなくなる。大分女性優位になって来たと思うので、女性が力を付ける事です。
- 差別と区別を確りを理解させた方が良い。
- 職場の増加が必要
- 国や地方公共団体等は法律や制度立场上推進しやういと思います。基本的には全体が雇用者(異論もあるでしょう)であるから民間企業は難しいでしょう
- 育児への理解や育児復帰などをしやすい環境作りや考え方を改めるなど
- 男女の平等という概念が不明。それぞれの役割を同等には担えないので重要度における優先順位をつけた役割を丁寧に社会の規範の中に根付かせていくことが大事。

**問8(3) (2)の実際の数が、(1)の理想の数よりも少ない方にお伺いします。その理由は何ですか。(〇は3つまで) 【8 その他】**

- 医師に止められたため
- 出産したばかりの為
- どんどん下の子が増えると上の子の負担が少なからず増えるからかわいそう。
- 病気の為
- 離別しているため
- 母親自身の病気の為
- 介護者がいて介護の仕事が入ったら

- 妊活中
- 不妊治療を7回行ったが経済的、年令的に負担が重くなった。
- 収入がそれ程無い。
- 1人目を出産したばかりだから
- 仕事の給料が低いため
- 私が欲しがらなかったから（妻は3人欲しかった）
- 病気の為
- つわりがひどかった。
- 結婚すら出来ないから
- 私は高額所得者に選ばれた事があったが、私の子どもを大学迄教育させるのがやっとだった。
- 未婚だから
- 体の都合で出来ません
- 現在乳幼児を育てている為
- 積極的ではないが子どもの順が男子1人、女子1人だったため。

**問10 男性が女性とともに家事，子育て，介護，地域活動に積極的に参加していくためには，どのようなことが必要だと思いますか（○は3つまで） 【10 その他】**

- 「男性が」「女性が」という根幹の偏見をなくす事
- 夫の収入で生活していけること。妻は子育て，地域活動など行えるよう共働きでは時間，体力などゆとりがなく穏やかな心で家族で過ごす時間がない。時間に追われる日々である。
- 男子女子共に役割があるはず。例，女性は力仕事に不向き。男性は細かい事に気付かず。
- 経済力
- 夫の給料を上げる
- 男女間だけでなくすべての偏見を無くす
- 家事，子育て，介護等を行うという強い意志を持つ事。
- 仕事+家事は体力的にきつそうなので，負担を平等に分ける。
- サービス残業，持ち帰りの仕事をなくす。労働調査を行うべきである。
- 相手の意見を尊重して夫婦で決めれば良い
- 婦人会や婦人部などの女性の会があることが，男女を意識的にわけていると考えます。（目的によっては，男性も参加できるように）
- 子育て，介護，地域活動で集まる場所が必要
- 行政の指導的役割が必要なのではないでしょうか？
- 保育園，幼稚園に預けられる年齢を4歳以上として，夫婦で協力して子育て，家事を分担しなければならないように条例化すること。（待機児童も減るはず）

**問12-2 問12-1で，1，2，4，5とお答えいただいた方にお伺いします。その具体的な内容はどのようなことですか。（○はいくつでも） 【11 その他】**

- 技術的な面や女性自身が仕事に区切りをもてる
- 仕事内容が男性向なので仕方がない
- 管理職の絶対数が男性のほうが女性より多い
- 派遣などの仕事で女性の事務で時給が高い所が多い
- 管理職になるのは，ほぼ男性
- 業務内容
- 職務内容により
- あきらかに給料がちがう。
- 出産後，元の部署への復帰はのぞめず，慣れない仕事に退職せざるをえない。
- 身だしなみ
- M字曲線

**問 14-2 問 14-1で、1の「ある」とお答えいただいた方にお伺いします。仕事を辞めた主な理由はなんですか。(○は1つ) 【12 その他】**

- リストラ
- 家事に専念する為
- 次にやるべきことがあったから
- 仕事の内容合わず
- 会社適合, 希望退職, リストラ
- 会社都合のため
- 夫が亡くなり働き始めましたが, 更に資格を得るため大学院に入りました。
- 会社の都合で
- 育児休暇が短いと思ったため
- 会社の事業縮小のため
- 時短制度があるにも関わらず, 実際困難な状況であったため。辞めざるを得ず, 辞めるしかなかった。結局, 子育て中の女性に対する待遇は昔も今も変わらないのではないのでしょうか。疎まれるだけです。
- 不景気によりリストラ
- やりたい仕事へ
- 60歳になったので体を大切に
- 働いていた会社がなくなったから
- 仕事内容
- 出産のため退職をせまられた
- Uターンのため
- 高齢のため
- 発達障害があったため
- 会社の引っ越し
- 家業を継ぐため
- 自分のことがよくわからなかったと今は思います。
- 自分の人生計画に従った
- やりたい職業に就いたため
- 妊娠, 出産のため
- 引越し(転居)
- 新しい仕事に興味を持ったため
- 自立開業等による
- 家業を継ぐため
- 職種不向の為
- 希望退職が有り(夜勤がづらい)
- 仕事に情熱が感じられず, 己の能力も疑問を持ったため
- 長男のため
- 子どもを産むため
- 家業の跡継のため
- まったく違うことをしたかった。
- 妊娠したため
- 会社が倒産したため。
- 勤務先が閉鎖となったため
- 会社から遠くになったため(家から)
- 孫の世話の為
- 自営業を継ぐために
- 学業のため
- 合理化による早期退職
- パートで出産した為
- 引っ越しした為
- 会社都合の早期退職

- 疲れたため
- 起業

**問 14-4 問 14-3 で、3 の「したかったができなかった」とお答えいただいた方にお伺いします。再就職できなかった理由はなんですか。(○は3 つまで)**  
**【12 その他】**

- 年齢の問題
- 両親の介護(父 98, 母 94 で他界) 10 数年の介護で自分が高齢になってしまった。
- 実家を継いだ
- 退職をせまられたから
- 発達障害のため(?)採用されなかった
- 介護しなければならぬ義母がいたので
- 2 人目ができたため
- 正社員での仕事をしたかったが家事や育児がある為出来なかった
- 老齡の為

**問 15 女性が働きやすくするためにはどんなことが必要だと思いますか。(○は3 つまで) 【10 その他】**

- 何度も言うが、根底の考え方を変えないと同じだと思う。少なくとも貴方たちの職場では男女差別などないはずなので一般の職場と「誰の」「何が」違うのか検証してみてもは?
- 仕事を増やす
- 採用する側がもっと理解するべき。子どもがいる家庭がどれほど工夫して生活しているかをわかっておらず、理解しようともしてくれないですね。
- 男性がそれなりの給料を働けばよい
- 男性、女性、自分の考え方を変えて男女の平等の向上を図る。
- 下らない思い込みや常識から是正しない限り無理
- 全ての人が個性等を理解する
- 仕事に働きやすくとか関係ないと思う。やるかやらないか
- 農業(自営業)なので、労働は自由である。
- (母子、父子家庭も含めて)産休、育休を3年まで可能とし、金銭面でも支援していく

**問 16-2 問 16-1 で、1 の「している」とお答えいただいた方にお伺いします。それはどのような活動内容(分野)ですか。(あてはまる主なものに○を1 つ)**  
**【11 具体的】**

- 地域女性の会
- 食生活改善推進委員、シルバーリハビリ体操等
- 美化運動
- 文化、高齢者、子ども関係
- お祭り関係
- おまつり
- エンゼル、防犯パトロール
- 地区民生員
- 衣、食、住、家計についての講習会を開いている

**問 17-1 議員や審議会委員など、政策方針決定の場に女性が参画することについて、あなたはどのように思いますか。(○は1 つ) 【6 その他】**

- 何とも思わない。質問が既に差別的に感じます。
- 男女の実力次第
- 参画したい方が参画すべき

- 能力がある人が自然となるものだと思う。男女の人数に規定はないのだから。
- 見識があれば男も女もない
- 男女の数を比べる事はいけないと思う
- 能力に応じ参画する
- 委員等になった人の能力のある人
- 比率の問題ではないと思います。
- 男女関係なくやりたい人はやれば良い
- 男女関係なく、やりたい方、能力のある方がやれば良いと思う。
- 男女の人数で定めるものではない
- 実態不明 答えられない

**問 17-2 問 17-1 で、1～3のいずれかと回答された方にお伺いします。議員や審議会委員など、政策方針決定の場に女性が増えていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたが特に重要だと思うものを選んでください。(○は1つ) 【7 その他】**

- クォーター制の導入等
- 参加しやすいような柔軟な日時、場所の設定
- 男性の意識改革(特に中高年)

**問 18-2 問 18-1 で、1の「ある」とお答えいただいた方にお伺いします。それはどのようなことですか(○はいくつでも) 【11 その他】**

- 実の母に対してもいじめを行う
- カード、通帳等を持ち歩かれる。・嫌がらせをする。・子どもをハダカにして外に出す ・子どもを怒鳴りつける ・私の意見はまるで聞かない ・私が言って欲しくない事をいう ・私の両親の悪口

**問 18-3 問 18-1 で、1の「ある」とお答えいただいた方にお伺いします。あなたは、配偶者から受けたそのような行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○はいくつでも) 【12 その他】**

- そのため東京から茨城に来ました
- 自分で殴られない様に考えた
- 地域の人、近所の人
- 他人に相談せず同じ様にやり返した。

**問 18-4 問 18-3 で 13「相談できなかった」14「相談しなかった」とお答えいただいた方にお伺いします。どこ(だれ)にも相談できなかった、あるいは相談しなかったのは、なぜですか。(○はいくつでも) 【15 その他】**

- やっている本人は自覚がなさそう、手は出さないの。
- 酒によっていて、本人がおぼえてない。

**問 20 男女共同参画社会を実現するためには、市は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。(〇は3つまで) 【15 その他】**

- 平等になれば女性が優遇される立場になる。
- 50歳以上の男女の雇用
- 職場を増やす
- 保育園の預け時間、18時以降は料金発生、学童は18時以前は料金発生、こういう小さいものですが子どもが小さいうちは何かお金がかかります。こういうものが無くなる事を願います。料金が発生すればそこを避けるために会社を遅く行ったりせねばなりません。そうすると結局働きにくくなりまた辞める事になり得ます。夫があまり協力的ではないので、私にばかり負担です。保育園、学童制度の改善を求めます。
- 誰にでもわかりやすい簡潔な内容の様々な法に關しての冊子作り等
- 特定の女性だけでなく広い範囲の女性の社会参加
- 9に關して、優秀な男性が、女性管理職の割合の目標の犠牲になる心配もある
- 会議や、集会など女性が参加しやすいようにしてほしい

**問 22 男女平等や男女共同参画などについて普段感じていること、市へのご意見、ご要望等がございましたら、自由にご記入下さい。【年代、性別】**

- 男女共同参画といっても男の意見が地域では通用している。もっと理解を望む。【60代、男性】
- 社会全体の流れは「女性をいかに・・・」であることは、よく理解できる。だが、職種や就業世代によっては「男なんだから・・・」という言葉で虐げられる男性も生じはじめていてはないか。”真の男女共同参画”は「両輪」の議論を進めなければ成立していかない時代になっているのではないかと私は思う。【30代、男性】
- ①若い人の意見が出にくい。一般公募の枠を広げてはどうか？特定の団体の長の任命はマンネリ化している。②審議会も夜の会議があってもよい。働いている若い人が出やすいように。③定年後の年金受給は高齢社会を生きるために最も重要なことと思われる。国民年金だけでは生活出来ない。女性の就業意識(年金のしくみ)に、老後の生活を見越した教育が必要と考える。経済的自立が出来なくては真の男女平等はあり得ないと思う。【70代、女性】
- 男女と書いた時点で区別している。男性も家庭の素晴らしさ、あたたかさ、子どもの大切さ、子育ての大変さが実感できないのが、気付きがないまま見た目で子育てや女性を評価している。もっと男女ともすべての可能性や役割を肌で感じるべきです。大変な子育てをしながら働けというのは疑問！男性も女性も！男女共同参画に子ども(子育て)が入っていないと感じる。【50代、女性】
- 幼稚園、保育園に入れづらい。友人が子どもを預けて仕事をしたいけれど仕事が決まらなないと保育園に入れなと言っていた。子どもを預けてから、資格の勉強して就職したい場合には難しい。【30代、女性】
- 男女平等や男女共同参画について、意識を求められたが、回答しづらい質問が多かった。でも、この意識調査結果を市政に反映させる事は簡素だと思いますが、男女平等の社会を築く事は出来ないと思います。【60代、男性】
- 運送会社なので、女性は事務の仕事をしています。来客へのお茶出しや電話が鳴ると必ず女性の私達がやります。それは仕方ないとして、従業員(男性)が会社の食器やコップを少しでも使ったら自分で使ったものくらい自分で洗ってほしい。女性が洗うのが当たり前のようにシンクにどんと置かれている。冬場の灯油入れやトイレそうじ床そうじ、すべて女性2人でこなしています。大きなトイレ、事務所も広いのでモップがけなど相当な重労働。それでも男性はやりません。私はパート(フルタイム)。もう一人の年配の女性は正社員。やっていることは大して変わりませんが、私は丸7年勤めてるが時給が1円たりとも上がりません。女性だから・・・という感覚は常に感じます。バカにされている気も時々します。男性達は皆たばこを吸います。喫煙室があるにもかかわらず私達の前で平気で吸います。何度か向こうで吸うようお願いしても聞き入れてもらえません。本当ににくたらしいです。【40代、女性】
- 男女平等の本来の意義を誤解している面が多々あると考えます。生物学的に男(オス)女(メス)は各々生来の能力差(体力等)を存ずる。従ってその能力の発揮する場(社会、家庭等)が平等に扱われることが共同参画の主旨を考えます。その点の誤解払拭も併せて行う必要があると考え

ます【80歳以上、男性】

- 企業内での女性差別、意見無視などが女性の共同参画、意志等を後退させている。市として条例の中身が企業内でも生かされるよう企業に対する監視要請活動を実施すると共に女性からの申告に際しては企業に対する注意等も行うべきである。【70代、男性】
- 女性の議員を増やしてほしい。(女性の立場から石岡市を考える人を増やして欲しい)【20代、女性】
- 男女平等は難しいと思います。【60代、女性】
- 女性だからと許される部分もある。平等になると社会で行う事ではない気がする。自分自身はどう思うかである。仕事をしていても、やはり男性は自分の考えがブレない。男性には仕事をやる素質そのものがある。家事の平等を女性が言うのはちょっと違う。土地がら山、田、畑を持っているので、主人は休みの日は農業として働き、頭が下がる思いでいっぱい。家事という、家の中だけでも、女性がやれば均衡がとれていると思うので、主人に手伝ってもらう事はまったくない。それぞれの家の立場で考えるべきで、お互いが尊重し合えば、無理に平等などと言う言葉を使う必要はない。男性が出来ない事を女性が行い、女性が出来ない事を男性がやる。これで充分です。と子ども達にも伝えていきます。【40代、女性】
- 条例や施策が数多くあり、平等な社会を目指す行政の姿勢には頭が下がる思いですが、残念ながらそれらの活動がこのように郵送等で送られて来ない限り知り得ない事の方が多くあります。設問6のDVに対する行為を相談する先が、こんなにある事も恥ずかしながら初めて知りました。普段の自分達の生活を改善する為に行政が広く門戸を開けている事をもっと知れる機会があればと思います。全ての声を聞き叶える事は大変であると思いますがこれからも頑張ってください。【20代、女性】
- ①男女の差別は良くない。②実力があれば女性でも色々活動すべきである。【70代、男性】
- まず市議の議員が代表として男女共同参画の手本となるような考え、行動をとることから始めてほしい。【40代、女性】
- 求人などで男女の表示がなくなり、平等になったようですが、実際会社では、男性、女性の給料の差が大きく、同じ時間働き、責任も求められているのに大変不満に思う。育児休暇についても男性も取得できるようになっているが、休みを取ったあとの会社の対応(部署内)が悪くなかったりしているので、社会全体で変わっていかないといけないと思う。【20代、女性】
- 会社や社会において、常に女性は男性の下と思われがちです。特に地方(田舎)の農、林業、漁業従事者にあるように思います。やはり、時間がかかるとは思いますが当事者の意識改革、啓蒙、推進が必要ではないかと思えます。【50代、女性】
- 働き易い環境を整えるため、介護や保育の充実をお願いしたい。【40代、男性】
- 〔男女比による差別がある〕と考えることは安易であると思う。能力があれば、自然とそのポストに就くものであるし、それを男女の差で、採用できないのならば、いくら対策しようとムダである。大事なのは、人を選ぶ自分の公正な価値観である。それを持っていない人物が上にいればどうしようとも改善はされない。自分を客観視すること、自分にとっての利益ではなく社会にとっての利益を優先すること。金銭に対して潔白であること、これらを持っていないなら、何もしない方が賢明であると思う。平等をどう扱うかで自ずと見えてくると思う。以上【20代、女性】
- 若い人がいないので、定年の人ではなく若い夫婦が住めるまちにしてみたい。(教育費、保育費優遇など)【40代、男性】
- 男性優位の社会を見直し女性で能力のある人が社会のリーダーとして活動できる社会を作してほしい。性別に対する固定概念を改めていくことをしていただきたいと思う。【20代、男性】
- 困りごとの相談等もちろんですが、現実的な、金銭的な補助をもう少し充実させるべきかと感じます。【30代、男性】
- 意識改革が最も重要だと考えます。【40代、男性】
- 意識啓発広報活動が少ないと思います。【70代、男性】
- 男女平等と言うが、まだまだ女性の地位向上に努めなければならないと思う。男性が引っ張って行く世の中で良いと思う。変な意味での男女平等を述べている。女性はさらに地位向上のための努力が必要である。【70代、男性】
- 子どもを望む既婚女性が不妊治療に専念できるよう、職場の意識改革がなされればよいと思う。市の事業に関しては、このまま継続してもらいたいが、40~42歳の助成回数を通算3回ま

ではなく、5回程度にまで増やして頂きたいと思う。女性の雇用が促進されれば同時に婚期も延び、結果的に子どもを持つと行動し始める時期が現在よりも更に延びると思うからである。【30代、女性】

- 家事や育児は女性の仕事。この考えは今も昔も結局変わらないですね。家事、育児は本人のやる気の問題でもあるのでしょうか・・・。私が市に求めることは、時間外保育、時間外学童料金が発生するために会社を早退、遅刻しなければならない現実です。たかだか数百円ですがそれが毎日続けば良い額になってしまいます。ただでさえ子どもが3人小さくてフルタイムでは働けずパートのため給料は低いです。そんな中で、生活費の他にそういった子どものお金がかかります。時間外というものがなくなれば、女性はもっと働きやすくなると思うんです。正直、子どもがいない人、結婚していない人がいくら「男女は・・・」「子育ては・・・」と言っても何の説得力もありません。経験した人にしかわからない事だと思えます。でも、子どもがいる生活は充実していますし、給付金などもあるので、何かとありがたいとは思っております。あと少し。あと少し改善してくれるともっと助かるなあと思っている次第です。【30代、女性】
- 質問に答えてみましたが、正直「男女共同参画」と言われてもピンときません。もう少しわかりやすい言葉の方が伝わることも多いのではないかと思いました【30代、女性】
- 中学生ぐらいに内容がわかりやすく広報活動してはいかがでしょう？卒業時にこれから巣立つ若者へ冊子を記念として渡す等(18歳に選挙投票が開始されたので・・・)選挙法も男女平等の理念からなる事案だと思いますので・・・。20歳の記念に市民にはまた同じ物を冊子配布するとか、現在20歳以上の方にいきわたるように！アンケートも大事ですが、まずは身をもって見て考えて実践できるようにすべきと考えます。【40代、女性】
- 行政や企業の女性限定に絞った雇用体制をとり、男女比率の平均化。【30代、男性】
- 個々の意識が一番でないですか？【50代、男性】
- いろいろな面で、行政自身がまだ意識や制度、慣行にこだわっていると思います。【60代、無記入】
- 社会参画への女性間の意識格差があり過ぎる。市の住民への情報発信が下手。市内での広報紙の活用だけでなく、市外部(マスコミ等の活用)から内部への環流も考えるべきです。【60代、男性】
- 私の世代は家事、育児、介護は女性まかせで男性は仕事だという人が多かった。しかし子どもの世代になると“イクメン”が増えて、家事、育児に関しては協力的になったと思う。これからの労働力を考えたら、女性は貴重だから、その為にも女性が働ける環境作りをお願いしたい。一世帯の年収を増やす事によって、子どもの数も増え、明るい社会へと繋がると思います。【50代、女性】
- 昭和生まれの私にしましては今の女性は本当に良い時代です。平等に近いです。【70代、女性】
- 男が働き女が家事をするというのはいいと思いますが、家事、育児の合間に働きたいと思っても時間、曜日とうまく合わずなかなか働き口がないのが現状です。子どもが小学校は行って帰ってくるまでの間の時間に働きたいという人はたくさんいると思います。それでも大丈夫という会社がたくさん増えたらいいと思います。【30代、女性】
- 古来からももとは女性も男性と同様活躍していたと思いますが、明治以降の「男は仕事、女は家庭」との価値観が未だ根強く残り、それが伝統であるかのようにさえ誤解されている節があると感じています。若い人の中ではそのような男女意識は薄れつつある中、各種制度も整いつつあり(育休、産休、アファーマティブ、アクション等)現在が女性の地位向上の過渡期であると感じています。現代にどれだけ手を打つかで次の世代以降の男女意識が決定されると思いますので、教育、保育等にぜひ力を入れていただきたいと思います。【20代、男性】
- 市のみならず日本国全体で女性自身が出産、育児の大変さを乗り越え働く意識を向上させる事が第一。流れを作り上げること！！【50代、男性】
- AI、ロボットなどテクノロジーの進歩により、家事負担等の問題はいずれ多くが解決すると思われる。同様のことから職場での働き方も変化してくると思う。【40代、男性】
- 男女平等に関して長い間働いてきて感じた事は女性で管理職になる人は能力もあるし仕事もできる。しかし部下への指導能力がない。解任されてしまう。理性より感情を優先してしまう。女性自身変わるべきだ【60代、男性】
- ・慣習のようなものはなかなか一朝一夕には変わらないとは思いますが、色々な働きかけがあれば少しずつ意識も変わるかと思いました。(何もしなくては何も変わらないと思うので)

- ・個人の育った環境など、男性だから、女性だからというくくりではなくそれぞれのパーソナリティーによるところの意識で考え方が随分違ってくるものだと思います。でも、多くの人たちが家の外での環境の中で女性の活躍の場などが増えて、目にする機会も増えてくるようになれば全体的な意識も少しずつ変化していくのではないかと思います。
- ・性差による仕事の役割、多少はあって仕方ないと思うところもありますが、女だから、男だからという決めつけでない。色々な形態があるということが認められやすくなければよいかなと思います。
- ・行政の取り組みをもっと知らないといけないと反省しました。よりよい市民生活のために頑張ってください。期待しております。【40代、女性】
- 小、中、高校生への啓発等を強化して意識づくりを徹底する。【50代、男性】
- 教育等により徐々に実行して行く【60代、男性】
- 戦後前の教育が今も根強いと思う。時間はかかると思うが、本当の男女平等になる日を心から願う。【40代、女性】
- 男女平等は無理である。【50代、男性】
- 介護、病院等で単に女性の能力(気ばり)等を大変ありがたく感じる事が多々ある。適材適所の gentle:tender な考え方が大切であると思う。【60代、男性】
- 女性は小さな子がいると職につきにくいし、ついたとしても子どもの具合の悪い時など休みも増えてしまい、結局やめなくてはならなかったり、気を使う事も多い。面接などで子どもの具合悪い時はどうする？と聞かれる事もあり、働きやすい環境が整っていない。保育園に預ける時の短時間、標準時間の設定も短時間だと9時～17時の場合が多く、大体の会社は9時～仕事なので結局延長料金を払う事になり、標準時間よりかなり高くなる。短時間、標準時間の設定は必要だったのかな？と思う。【30代、女性】
- 現役世代より定年後の世代の方たちは女性の方が生き生きしているように思う。男女共同参画は、生涯学習においても継続してもらいたい。【50代、男性】
- 男女共同参画とは、言葉はよく耳にしますが、具体的にその実態を公的機関や企業でみたことはない。市役所にいく。テレビ等での女性の働く場所も多くなり、また重要なポストにも適用されているんだなあという感じは受けるし(大変うれしいこと)また女性だからという訳でなく女性ならではの柔らかなトークの仕方に理解できるし気楽に話かけられますね。特に管理職となると難しそうな理屈ならべてトークする男性職員よりも女性(例外もいますが、一般的に)の方がきめ細かなトークの方がはなしやすいという利点もある。【60代、女性】
- 男女平等とは、性差に関係なく男女の特性、能力、特手、不得手等の全般を考慮した上で公平な判断視点に立って同等な機会、処遇、扱い、評価等をすべきものと考えている。大事なことは、男性間でも女性間でも各々に格差があるように、当然男女間にも格差が生じるのは仕方がないと思うので、伝統や慣習あるいは感情論や思い込みを排して今の世に適した総合的な立場。観点から男女共同参画を推進してもらいたい。【60代、男性】
- 男女の分を知り行動するようにする。【70代、男性】
- 現在男女平等に随分なっていると思う。今更女性の地位向上とか言わなくても職場など女性が多い。ほとんどの所もある。(保育士など男性もいる)自分の意志で職業を選択できるしそんなに問題はなくなってきていると思う。若い共働きの夫婦は、家事なども手分けしてやっている。時代がずいぶん変化してきて家計を助けるために女性も働く事は当然なのかなと思う。育児や介護をサポートする施設は益々必要になってくる気がします。子どもはたくさん産んでもらえるような助成や施設は日本の経済を支える大事な基盤になっていくと思います。【60代、女性】
- 石岡市では平成18年4月から男女共同参画条例を施行しているとの事ですが全く知らなかった。今後は種々と勉強して参りたいと思っています。男性でも女性でも努力した者が報われる社会が望ましく思っています。【80歳以上、男性】
- 良い意味で男女平等にはしない方がいいと思います。女性の方は身体だって男性にはかないません。女性を守る法律は多くした方がいいが平等にする意味はない。【30代、無記入】
- 条例、基本計画等を作成しても、実践が伴わないと思う。行政が行動力を持ち、企業、団体、地域に働きかけて、官民一体となって、活動することが大事ではないか。一時的ではなく、継続的に啓発、事業を推進することが、埋もれた女性の掘り起こしになり、趣旨の発展に寄与するものと考えます。【70代、女性】
- 「男女共同参画」とはどのようなことなのかということを具体的に周知する。【60代、男性】

- 石岡市では平成18年4月から男女共同参画条例を施行しておりますが、私をはじめ多くの市民は条例の内容等に関しては知らない人が沢山いるのではないのでしょうか。出来ればこの機会に多くの市民の皆さんに知って頂く為にも何らかの方法で知って貰える様お願いします。【70代、男性】
- 女性を社会に押し出してあげる為には、保育所の数が足りなくては預けて仕事に出られません。また、児童が帰宅してから親が帰るまでの間、留守しなければならないので、児童を見てくれる制度(勉強なども)が充実すると良い。出産後、1年経ってから、仕事に戻るためには保育所に預けなければならないのに、保育所がどこも一杯で大変困りました、という声をととてもよく耳にします。どうぞ、保育所を作って下さい。でなければ、男女平等なんて言えないと思います。【50代、女性】
- 自分は昭和23年生まれなので昔はそのような考え方はなかったと思いますが、学校等での教育で大人になるまでにそのような考え方を身につける方が良いと思う。【60代、男性】
- 男女共同参画条例を市民にもう少しよくわかるようにしてほしい。【40代、女性】
- 男女平等は理想だが、女性しか出産ができないので、完全に平等を推し進めるのは誤りである。出産・育児後の女性が子育てをしながら働ける環境を作ってほしい。現在は介護はしていないので分からないが、介護される人はこれからも増えていくので、介護施設を増やすこと、職員を増やすことをしてほしい。学校のように行政が運営する介護施設があると良いのでは。ひとり親家庭の対応もよくしてほしい。【30代、女性】
- 個人レベルでの意識改革がまず必要と感じている。男性優位の意識がなくなれば、能力のある女性が社会貢献できないと思いながら生きてきました。行政等で啓発活動を続けていくことも重要です。市の条例も整っているなかで不平等感が払拭できないのは、私だけの問題なのではないでしょうか。【60代、女性】
- 古い習慣を見直すことが、男女平等への第1歩です。「女だからと言う」言葉を使っているうちは無理でしょう！！【50代、女性】
- 男性、女性の特性を生かし、尊重し合うことが大切かと思います。【60代、男性】
- 子育て中の親が住みやすい市に。私達、年寄りも同じです。【60代、女性】
- 夫婦ならお互いの意見が大事で協力し合えば良い事である。【60代、男性】
- 条例の内容がわかりませんので、配布などを検討してみたいはいかがでしょうか？【40代、男性】
- 国・県・市ともに人口減少が心配。1. 結婚活動への啓蒙・施策の充実 2. 少子化対策 3. 保育制度の充実 4. 教育費の予算増 等が確立された土台の上で「男女共同参画」活動が成立すると思う。【80歳以上、男性】
- まず、男女共同参画という言葉を知らない。何の事？という感じです。【40代、女性】
- 石岡市がこのような参画条例があるとは思わなかったの、そういう条例自体があるっていう事を、石岡市民にもっとPRすべきだと思う。ポスター、ちらし、活動などで、もっとみんなに知ってもらってからの話だと思う。【30代、男性】
- 教育で特に家庭教育が大切だと思います。核家族化が進んでいるので、新しい家族のあり方は、浸透しやすいのでは？(3世代では、今までの習慣が受け継がれていくので、)時代が変わってきていることを、子育てをすでに終えた世代も理解し、新しい家族の形をサポートできる体制やアイデアを皆で考えられる機会があるといいですね。女性はとても優秀な人が多いです。子育て中の人、子育てが終わった人も、地域の力として働ける場所をもっと作ってほしいと思います。【20代、男性】
- 男女平等と言っても、まだまだ女性自身、男性自身の考えが男は強い、女性は弱いと思っている。頭ではわかっている、男女平等など考えられない。(身体の違いもあり、職場の中でも男性の仕事、女性の仕事で分ける)男女共同参画について小学校からの教育で教えるようにしないと無理があると思います。【60代、女性】
- 各の条例や法律を施行しても、内容迄知っている人は少ないと思われます。早期実現を目指すのであれば市として教育・研修の実施が必要だと思います。男女平等と言っても比較出来ない面が沢山あるので、私は一定の基準を設けて理解する事が必要と考えます。【60代、男性】
- 市役所での女性の活役をまず始めよ。【20代、女性】
- 1. 市役所窓口受付等大分女性職員が多くなりよい事と思っている。 2. 今後は結婚して子どもができて保育等充分に対処できる様、当局で充分対処できる様お願いしたいと思います。【80歳以上、男性】

- 本当の男女平等は、押し付けるのでは無く、自然に平等になっていく事だと思います。それは、長い歴史の中で女性が下積みになっていた事実があるからです。したがって、まず女性が率先して社会に進出し、自ら参加する事です。しかし、現在は女性が、法的にも優遇され、保護されて、男性が委縮してしまっている状態ではないでしょうか。過去に比べれば、女性上位になっている傾向にあると思います。むしろ男性の積極性を指導してもらいたいくらいです。男性が嫁をもらえないのもその一例ではないでしょうか。【70代、女性】
- 結婚して、子どもが産まれても、学齢に達し、小学生に進んでいって、結局近くに祖父母がいなければ仕事を続けていけない環境にあることが多いと思います。緊急時、親や子の病気の時、介護が必要になった人がいる家庭とかにも手を差しのべられる場があれば男女共働けると思います。理想をいえば、どんな形であれ、働いて社会参画をしていきたい人々がいれば、その希望に対応できる職種や職場を作ることが目指す姿だと思います。【60代、女性】
- 市で行われている様々な活動を一人の市民としてもっと知るべきだと自分自身感じた。広報などの工夫により、一部の人だけでなく、広く市民に伝えることができるのではないかと思う。【20代、女性】
- 男女共同参画について具体的に意味する事を知りたい。広報等で教えて下さい。【80歳以上、男性】
- 何にでも言えることですが、過度に行政が関与するとファシズム的な風潮がでできます。必要性は理解できますが、ほどほどでよいのではないのでしょうか。現に職場では、育休取得者の我がままとも思えるふるまいに、上司も委縮し、ものを言いつらい雰囲気が出てきています。(その職場によって事情は大きく異なるでしょうけど)【30代、男性】
- 地域の集会在、男性と女性の会(婦人部)をわけており、そうじ当番などもわけてくまれています。昔ながらの慣習が変化することに強い抵抗感があるようです。女性と男性が共同参画するためには、お互いの立場を尊重し協力し合うことが大切で、環境を整えることが必要と考えます。今の時代、あえて婦人会や婦人部と女性の会をおく必要性があるのでしょうか。内容を吟味し、見直して男女共同参画の形態に改善してはいかがでしょうか。【50代、女性】
- もっと、女性が働きやすいようにしてほしい。【60代、女性】
- 何をもって平等なのか視点によって見方が分かれると思います。双方で努力しているから社会が成り立っているのではないか。【40代、男性】
- 男性社会と思いつつも、意見を言う環境でなかったこと、又、そのままの方が自分も楽に生活出来たこと、今反省しています。女性自身が問題意識を常に発していくことだと思います。【70代、女性】
- 法律はかなり女性に有利になりつつありますが、逆に男性に不利な面もあるように思います。安心して相談ができる施設の情報がほしいです。【60代、女性】
- 生活に余裕を持ってこそその平等と思っています。今の若い人達は本当に余裕を持っているのか疑問に思うことが多々有り「男女平等」が空しい掛け声に終わってしまいそうな不安があります。【60代、女性】
- 日本は先進国の中で、男女差別のある国だと新聞記事を読んだ事がある。これからの社会は女性も男性もお互いの違いをよく理解し、助け合い家庭、職場、社会そして国を作っていくってほしい。それには子どもの頃から教育現場で教えてほしいと思う。未来の日本を築く子どもたちに期待します。全国の自治会長及び町内会長の女性率は4.9%との記事を見た。石岡市内はもっと少ないと思う。男女共同参画とは、ほど遠い現実ではないだろうか。まず身近な地域活動の場から、もっと女性も進んで会長ができるよう、市の方も積極的に進めてほしい。【60代、女性】
- 「フェミニズム」男女平等。性別役割分担などの意識を変えて男性、女性も「自分らしく」生きられる社会30代以下の女性は働かなければ生活が成り立たない面もある。労働時間の問題(育児、子育て高齢者介護などの公的機関の支援の充実)。男性も女性もより働きやすくなるような職場環境の整備が重要。【70代、女性】
- 女性の参画は賛成する。障害は無くする必要はあるが女性自身の参画意識が大事である。【50代、男性】
- 女性だから男性だからという偏見を持たないようにしながらも、内容によっては男性しかできないこと、女性しかできないことがあるので、それをカバーしながら生活や仕事をする必要があると思う。【50代、男性】

- ①女性は正直で積極的であり行動力, 決断力が有る。おおいに登用すべき能力を所持している。
- ②管理職には向いていると思う。頭脳判断業務。【70代, 男性】
- 首長や家長, 社長などは男女どちらでも成り得ますが, 社会的な地位や権利と義務は条例や法律で管理, 運営できる為であって, 一方家庭という最小の社会の単位の中で父親や母親の役割, 権利, 義務を一元的に進化させることは難しいので, 共通部分を見据えながらもそれぞれ別のものとして取り組むべき。男女共同の社会と男女の平等, 義務の伴う権利とは区別して調査し研究すべき。【60代, 男性】